

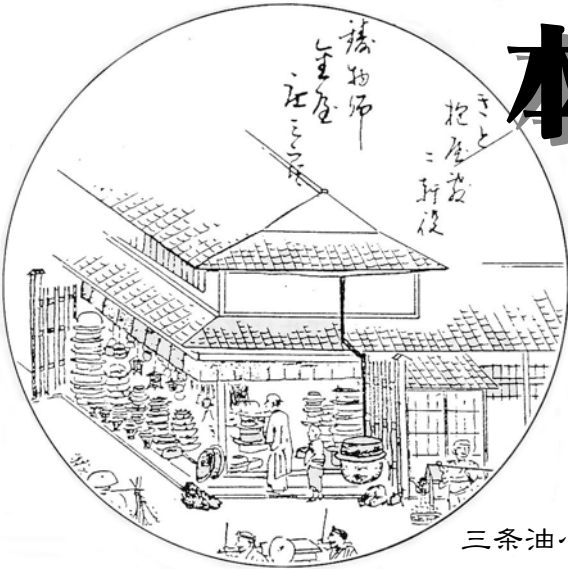
本能まちづくりニュース

第30号 平成17年12月20日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL <http://www.honnoh.net>

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページをご覧ください。



三条油小路町絵図より 鋳物師釜屋庄三郎方

時代祭 10年に一度の大当番

さる10月22日、午前10時、城南流鏝馬列は複合施設「本能」を出発しました。

時代祭は、明治28年平安遷都千百年を記念して創建された平安神宮の祭礼で、桓武天皇が長岡京から平安京に都を遷した10月22日に行われています。今年は桓武天皇の没後1200年にあたります。

時代祭の特色は、京都御所から平安神宮へむかう行列です。平安神宮の祭神(桓武・孝明天皇)を奉じる神幸列を含め18列。維新勤皇隊列を先頭に、明治維新から平安時代へと時代を遡る順で続き、往時の装束を身につけた総勢約2000人が長さ2キロに及び、見る者をタイムスリップさせるようです。

この祭列を支えるのは、京都市全域からなる市民組織「平安講社」であり、全市の各学区自治連合会傘下にある団体です。全市が十社に分けられ、各列の担当は決まっており、例えば維新勤王隊は第八社区域の中京朱雀学区、のように代々受け継がれています。時代列の切れ目ごとに並ぶ、薄青の袴姿の人達が平安講社の世話役さんです。各社の学区から御所に集合した隊列が、10月22日正午に、建礼門を出発し、都大路に時代絵巻を繰り広げながら、約3時間かけて平安神宮に向かいます。

さて本能学区は、平安講社第四社に属し、まだ中京区制が敷かれていなかった頃の「下京」、乾・本能・明倫・日彰・生祥・郁文・格致・成徳・豊園・開智学区の組です。担当の行列は、第十番目鎌倉時代、城南流鏝馬列(じょうなんやぶさめれつ)。大谷大学の学生が補助役を務めます。これは1221年(承久3年)5月、後鳥羽上皇が朝廷の威信回復のため、城南離宮の流鏝馬に託して近畿十余国の



複合施設「本能」を出発する城南やぶさめれ列

武士を召集したのに応じて上洛した武士列(後の承久の乱につながる)を模しているそうです。『後三年絵巻』などを参考に復元されたという、狩り装束で騎馬の射手武士を中心とする一団9人が5組、で構成されます。第四社の10学区が交替でこの5組に当たるため、馬に乗る大将は2年に一度、一番大将は10年に1度廻ってきます。前の第九列は中世夫人列(大原女・桂女・淀君・静御前など)、後ろは第十一列藤原公卿参朝列、第十二列平安時代夫人列(巴御前・紫式部・清少納言・小野小町など)と続き、京都花街連合会担当の華やかな女人列にはさまれて、勇壮な姿が強調されます。



岡山自治連会長、親子三代揃い組



着付師から指導を受ける町内会女性世話役のみなさん



グラウンドでの乗馬の練習



道具、装束類の保管は、本能消防分団が担当

10月20日昼前、平安神宮の倉庫から衣裳や御道具、そして馬2頭が本能グラウンドに本能体育振興会のお世話で運ばれてきました。本年は本能学区が一番大将を務める年で、10年に一度の大当番でした。一番大将は本能自治連合会会長岡山悟氏。息子さんの哲士氏が弓武者を、お孫さんの高倉小学校2年生の虎一君が童を、と親子三代で務められました。グラウンドで5人の大将が乗馬の練習。白馬のご機嫌が悪く、一番大将を振り落とすというハプニングもありました。本能ホールでは、平安・八坂婦人会のお接待でお抹茶がふるまわれ、町内会女性世話役さんが、巡行当日にお供の雑兵に扮する大谷大学の学生さん35人の直垂着付け方法を着付師から教わりました。お祭当日までの本能ホールでのお道具・装束類の保管は本能消防分団が責任を負い、まさに学区を挙げての大行事でした。

22日当日は7時前開門。着付けは順調にすすみ、馬5頭も雰囲気慣れて準備完了。本能交通対策協議会の交通整理で、10時に本能玄関を出発。城南流鏝馬列は油小路→錦→小川→蛸薬師→堀川→六角で岡山邸の前を通り→小川三条のルートで学区内を廻り、沿道で皆さんの拍手と見送りを受けて、御池通を御所に向かいました。

肌寒く、午後の空模様が心配されましたが何とか持ち、無事に時代祭の大役を終えることができ



学区内を廻る巡行の列



ました。

時代祭の調度・衣裳・祭具は、1万2千点に及び、京都の伝統工芸技術の粋を集めて綿密に時代考証・研究を重ねて復元された本物で、淀君の衣裳では下絵・染色・絞り・刺繍・金彩の工程で本能学区の職人さんが関わっておられます。祭礼の運営・維持にかかる費用は、各学区自治連合会から平安講社に寄せられ、技術・費用・労力の点からも、京都市民が支える祭と言えるでしょう。

参考：『時代装束 時代祭資料集成』京都書院 1995

平安神宮『平安神宮と時代祭』2005

京都歴史資料館 情報提供システム フィールドミュージアム京都

京都新聞HP 時代祭



時代祭大当番を終えて

その節には時代祭のお見送りに大勢の方々のお出ましを戴きまして、誠に有難う御座いました。平安講社主催の時代祭、本能学区は第四社 10 学区からなる組織体です。出立は鎌倉時代流鎗馬列というお役で、2年に一度各学区に大将役が廻ってまいります。そして10年に一度大当番があり、本年度本能学区がその大役の年に当り、平安・清々両講社の木村孝次、西嶋直和両名の下、体育振興会・消防分団のお力をお借りし、無事滞りなく終了いたしました。又その節には各ご町内のお世話方には間の日にもかかわらず、

着付け係りをお願いし、2日間に渡りお世話になりましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。10年に一度の大当番というものは、学区の種々のボランティアのお蔭で成せる事だと実感した次第です。さて、今回の大当番に学区より推薦を戴き、一番大将というお役を仰せ付かり、私と息子と孫と親子三代で都大路の晴れ舞台に出場という栄誉を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。当日は薄曇りで、道中少々の雨はありましたが、本当に大勢の観客の前を威風堂々と行進させて戴きましたこと、終生忘れることのない体験をさせて戴きました。次の2年後の流鎗馬列、どなたがお役目を引き受けられるのか、今から楽しみです。結びにあたり学区の皆様方の御協力・御支援を賜り、本当に有難う御座いました。

流鎗馬一番大将 本能自治連合会長 岡山悟

ようこそおいでやす 秋の「本能」に

今秋で6回目の「まちなかを歩く日」(主催：歩いて暮らせるまちづくり推進会議)は、11月5日(土)・6日(日)に、中京区の9学区で13のイベントが開催されました。本能学区では、本能まちづくり委員会が、恒例の「おいでやす染のまち本能」を、新しい本能自治会館一帯で行いました。

初日は好天に恵まれ好調な出席。高齢者福祉施



高齢者施設本能1階での実演と展示、施設の入居者も大勢の参加

設本能1階和室で実演(糊置・刺繍・野菜細工)・展示(着物のリフォーム作品)、お琴のBGMが流れる本能の辻子でお抹茶の接待、老人クラブハウスでマイキモノプロデュースを行い、学区内の公開



本能の辻子でのお茶の接待、お茶菓子は伊勢源六たちばなや提供

工房ツアーには81名の参加がありました。2日目は朝からあいにくの雨。着物での参加の方には大変でした。自治会館2階の会議室では絞りの今井さんと、染めの園さんの指導で、



和室でのマイキモノプロデュースと絞り染帯揚げ制作教室

絞り染め帯揚げ制作教室を開き、参加者11名。皆、自分好みの色柄を選び、苦心しながら、絞りを体験しました。公開工房ツアーには66名の参加。マイキモノプロデュースは二日間で9名が申込まれました。今回工房を公開されたのは、中東染工・松本金彩・村田縫紋・勝山引染・荒木金彩・



印染の工房では・・・

上木友禅・印染土山・絵師高岡さんでした。ご参加の皆様、ご足労ありがとうございました。公開された工房の

皆様、ボランティアスタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。(写真撮影：立命館大学文学部人文総合科学インスティテュート4回生 真鍋宗一郎)



公開された工房には・・・

～参加者からの感想～

公開工房ツアー、染の体験工房に参加させていただきありがとうございました。

普段は触れることのできない職人の方の匠の技に、ただただ感動するばかりでした。印染の工房で完成までの各工程の職人さんの作業を一堂に見ることができたのは、本能ならではの取組で特に印象的でした。

帯揚げ絞り体験では、不器用な私に最後まで根気よくお付き合いいただきました。自分オリジナルの帯揚げができていてことと楽しみにしています。

このような事業が毎年開催されるのも、多くの人にほんものに触れていただきたいという本能の皆さんが、日ごろから熱心に御議論されているからこそで、今後の本能の活動の展開を楽しみにしています。

一般参加者 中川知子（京都市伝統産業課）

京都外国語大学は、多言語で京都観光情報を発信するという、文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に選定されたが、その取組の一環として、今回の「おいでやす、染のまち本能」に学生ともども参加させていただいた。京都の伝統工芸を具体的に感じ、将来この方面についても発信を考えたからである。

本能学区の通りを歩いてみても、「京都の染めのまち」とは思われない。しかし、お家の中を少しのぞくと、そこには凄いレベルの染や技の世界があることを実感できる。

今回は、引き染めの勝山さん、金彩の荒木さん、手書き友禅の上木さんと、3軒ほど見学させていただいた。初めて見るものばかりで、またその素晴らしい仕事ぶりに魅了され、あれやこれやの質問ですっかり長居をしてしまった。学生も同様に、本能会館では思いもかけずお茶とお菓子でご接待いただいたが、それをそっこのけにして、会館内での糊置きや京繻いの実演から離れられない学生たちであった。手書き友禅を初めとする、職人さんの技と作品に身近に触れることができ、とても美味しいものをたくさん頂いた、というのが感想で、技をご披露いただいた職人の皆様や、この企画でご苦労頂いた方々に心からの感謝を捧げるとともに、機会があればまた参加したいという、思い出の一日となった。

佐々木伸一（柳水町）



地元では防災訓練

11月13日(日)、本能グラウンドにおいて本能自主



防災会主催の防災訓練が行われました。今回は心肺蘇生術の訓練。人形を使って、人工呼吸や心臓マッサージ、心臓への電気ショックを加える機械の扱い方などを学びまし

た。救命処置は心臓停止3分以内、呼吸停止10分以内、出血30分以内に行うと、甦生率は50%だそうです。対応は、迅速かつ慎重にしなければならず、見てい

るだけでも緊張しました。(N村)

本能自治連合会からの お知らせ

◆2006年1月9日 午前9時30分から本能学区成人式を行います。例年通り、新成人の方を学区でお祝いいたします。成人を迎えられ、参加ご希望の方は、自治連合会長岡山(TEL221-6608)までご一報下さい。

◆2006年1月1日 新年を迎え、恒例の互礼会を、自治会会議室にて午前10時～11時に行います。学区民の方々のご参加をお待ちしております

門戸厄神に出張

阪急電鉄の依頼を受け、11月13日、「門戸厄神」



毎年恒例の「振袖道中」イベントへの協力のため、本委員会より西嶋委員長以下4名が、マイキモノ・ミニウチワ制作体験・シミ抜き実演を行ってき

ました。ミニウチワは子供達で賑わい、門戸厄神の宮司さんはシミ抜きの技に感動。着物の振興につながれば、との思いで参加しました。京都を離れ、いろいろな意味で認識を改めた一日でした。



ひとこと

◇もうひとつの「まちなかを歩く日」が三条通で開催されていました。8日夕刻三条通が手づくりのろうそくと行灯で飾られました。MO

◇「本能」の複合施設完成。新たなマンション建設進行中。古い町家を取り壊されて新築工事が所々に。本能の風景が変わる一年でした。皆様どうぞよいお年をお迎えください。N村